



②大崎上島けんこう文化の島づくり協議会

一人一人の「気づき」を大切に
フリーマーケットやアンケートを実施

令和8年2月14日・15日、大崎上島町で『すみれ祭り』が開催されました。春の訪れを感じさせるような、ほかほかとした陽気に恵まれ、会場はたくさんの来場者でにぎわいました。

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会は、資源活用フリーマーケットと食品ロス削減の啓発活動、地球温暖化防止に関するアンケートを実施しました。

フリーマーケットは平成29年から、地域の恒例行事として続けています。家庭で眠っている食器や鞆などの品物を持ち寄り、必

地球温暖化防止に関するアンケートに答える来場者と会話する梅澤代表



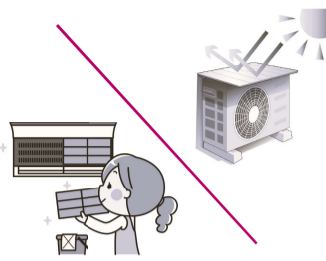
要としている人へ販売しています。売り上げはすべて社会福祉協議会へ寄付し、地域のさまざまな活動に役立てられています。

食品ロス削減の啓発活動は、今年が初めての取り組みでした。会場では、「過去一週間に捨ててしまった食べ物」をテーマにシールアンケートを実施しました。結果は、野菜、果物、弁当・そうざいの順に廃棄が多いことが分かりました。一方で、「何も捨てていない」と答えた人も多く、日ごろから食べ物を大切にしていることが伺えました。

地球温暖化防止に関するアンケートには、約250人にご協力いただきました。「暖かい服装を心がけ、暖房の温度設定を適切にしていますか?」という問いに対しては、約93%の人が「はい」と回答しました。多くの住民が、日頃から環境に配慮した暮らしを実践していることがわかりました。

梅澤代表の「一人一人がエネルギーの無駄を省くことの大切さに気づき、無駄を減らすことが大切」という言葉が印象的でした。

(脱温暖化センターひろしま)



熱中症予防のためには、エアコンの活用が有効です。経済産業省では、家庭における熱中症を予防するため、本格的な夏季を迎える前に、早めにエアコンの試運転を行うことを推奨しています。暑くなるとエアコンを動かしてみたら、「調子が悪い」「故障している」とならないよう、早めに点検をしましょう。家庭用のエアコンは、約11〜13年が寿命で買い換えられています。古いエアコンを使っている場合は、特に注意が必要です。エアコン試運転の方法は、運転モードを「冷房」にし、最低温度、最大風量で30分運転します。試運転で冷風が出なかったり、嫌な臭いや水漏れがある場合は使用を中止し、エアコンを購入した販売店などに相談してください。

お得なエアコン運転のコツ
試運転も忘れずに

試運転をする前は、フィルターのほこりを掃除機で吸い取りましょう。汚れがひどい場合や油汚れが気になる場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰で乾かします。また、室外機の周りも確認しましょう。吹き出し口を物で置き、冷房の効果下がります。室外機に直射日光が当たると、室外機が温まり冷房効果が低下するので、日陰を作る工夫をすることで省エネに繋がります。エアコンを使い始めたら、フィルターやフィン(エアコンのカバーを開けた時に見える細長い金属製の羽のような部分)は2週間に1度、お手入れをしましょう。きれいに保つことで、エアコンが余分な電気を使わずにスムーズに運転でき、節電になります。冷房の場合、温度を1度下げると、風量を増やす方が省エネです。また、エアコンは運転を開始した直後の消費電力が大きいので、日中は30分程度の外出であればエアコンをつけたままにする方が、お得な運転ができます。(脱温暖化センターひろしま)

海洋ごみ問題を学ぶテキスト作成に協力

一般社団法人瀬戸内プロジェクト in 広島が発行する小学生向けの環境学習教材「名産カキが育つ豊かな海ってどんな海?」の作成に、当協会が協力しました。本教材は、広島海について学習した中学生が内容を考え、当協会は掲載内容の助言をはじめとした全体のコーディネートを行いました。

作成された教材は、2月14日・15日に開催された「広島城オイスターフェス2026」で配布されたほか、小学生向けの環境講座などで活用される予定です。

本テキストが、若い世代の環境保全意識の向上につながることを期待します。

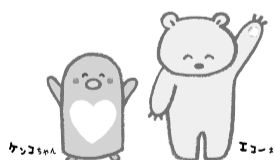


ちよつと一息 身体を動かそう!

手のひらをしっかり体(肌)に密着させて、いろいろなところをさすってみましょう。さすることで皮膚温度が上がり、血流が良くなります。肩回りや肋骨、腰、背中、股関節、足の内側・外側など、気になるところをさすみましょう。

②手のひらで疲労回復

令和7年度 地区衛生組織活動資金募集



通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和7年度で66回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として、地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円) **43,357,020円** (令和7年度年間実績)

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,453,450	109.0
海田町	1,682,341	84.6
熊野町	1,411,200	106.5
坂町	323,481	102.3
江田島市	1,573,750	98.0
竹原市	1,463,000	97.9
大崎上島町	279,700	99.0
大竹市	2,220,370	98.1
廿日市市	3,224,131	99.1
廿日市市大野	2,389,678	94.9
廿日市市佐伯	269,865	83.6
廿日市市吉和	39,100	94.7
廿日市市宮島	176,200	94.8
安芸太田町	626,150	98.7

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	975,970	97.4
安芸高田市	1,893,649	106.6
東広島市	3,882,699	95.5
三原市	1,262,128	86.9
世羅町	737,580	100.6
尾道市	4,064,082	97.6
福山市	8,016,080	96.3
府中市	981,290	97.9
神石高原町	283,400	97.3
三次市	1,956,601	114.0
庄原市	2,110,672	96.4
その他	60,453	99.9
合計	43,357,020	97.8

皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

募金の使途

- 公衛協配分金 公衛協の活動資金
- 環境協配分金 全県の活動に
- 事務費配分金 募金PRや手数料

県内公衛協の活動支援に活用

- ・広島県公衆衛生大会
- ・推進委員養成に係る各種研修会
- ・全県共通事業重点メニュー
- ・公衆衛生推進手帖の作成
- ・脱温暖化のまちづくり
- ・学習教材の作成や貸出 など

市町別一覧表

※この表は、各市町公衛協の令和7年度年間実績額を記載しています。ご協力ありがとうございました。